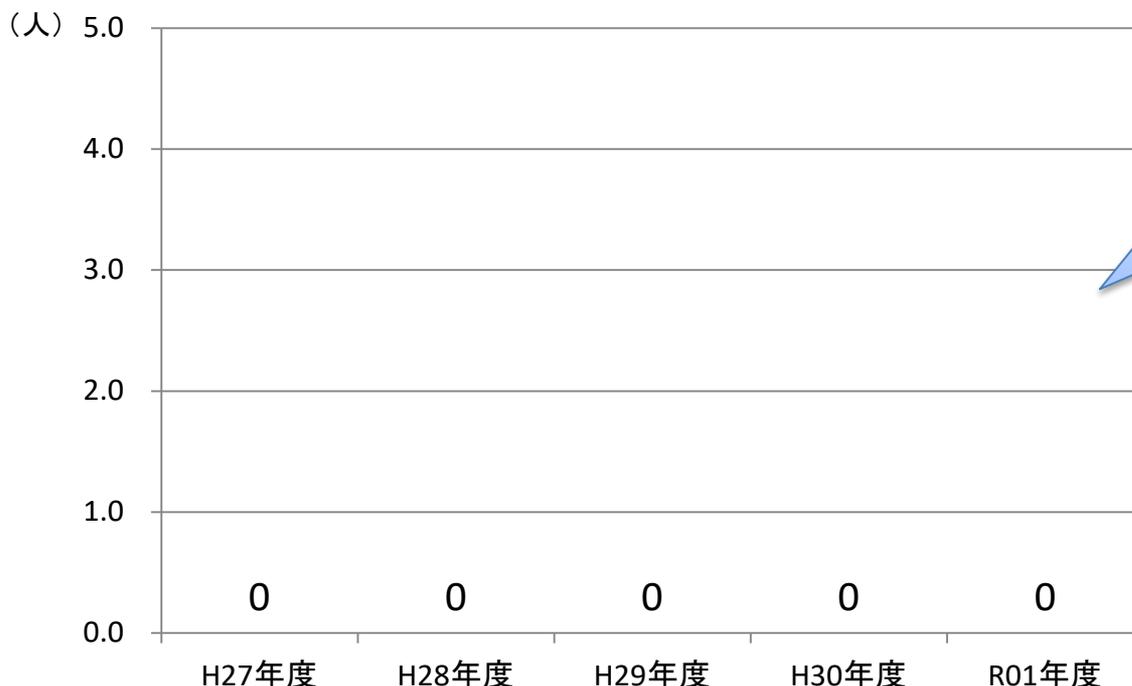


多剤耐性緑膿菌(MDRP)による院内感染症発生患者数

■ 解説: **outcome** 指標

多剤耐性緑膿菌(MDRP)は、抵抗力が低下した患者に感染すると、難治性の感染症を引き起こし死に至らせる場合があります。これは、病院内の手洗いなど適切な介入により、かなりの程度で発症頻度を減じることが可能です。十分な感染対策を行っていることを表す指標です。

■ 当院の実績



《自己点検評価》
引き続き、院内感染防止に努めます。

■ 定義

新規MDRP 発症患者数です。保菌者による持ち込み感染は除き、入院3日目以降に発生したものを計上します。

■ 平成30年度国立大学病院報告書: 中央値0.5